

# いけぶち佐知子通信 未来にまっすぐ

2015No.3  
(通巻95)

2015/2

吹田市千里山西

5-2-5 7社ビル

06-4861-7418

## 報酬削減は市民のために

議員報酬は、条例によりその額を定めることになっています。吹田市の場合、「吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」により、月額六五万円（議長は七四万円、副議長は七〇万円）です。

この条例に対し、平成二五年三月定例会において、財政総務委員会が提案した「吹田市議会議員の議員報

酬の特例に関する条例」が可決しました。平成二五年六月から平成二七年五月二六日までの間、議員報酬の月額を一〇%減しています。その結果、一年間で約二八〇万円削減となっています。

さて、議員報酬額の決め方として、全国共通の計算式があるわけでも、標準額があるわけでもありません。

市長と議員の仕事量、責任から考えて、市長の給料の七割程度が妥当ではないか、との説もあるようです。

吹田市長の給料は「吹田市特別職の職員の給与に関する条例」により定められており、月額一〇五万円です。（現在は、特例条例により減額）一〇五万円の七割に比べ、議員の月額報酬六五万円が抜きんで高いわけではありません。また、市長の給料に加算される地域手当も、退職手当も、議員にはありません。

他の自治体議会の議員報酬額の現状について調べました。

北摂七市の議員月額報酬は、いちばん人口規模の小さい摂津市を除けば六〇万から六六・四万円までと、ほぼ似通っています。一方、吹田市と人口規模の特例市では、越谷市五一・五万円、所沢市五六万円であり、吹田市の約八割でした。

また、「全国一七二二市区町村議員報酬ランキング」（条例上の額）では、吹田市議会議員報酬は、全国で二位、他の北摂三市も二〇位以内に入っていました。

いけぶち佐知子は、市民サービスへ予算を優先配分するために、特例ではなく恒常的に議員報酬を一〇%削減することを提案します。

## 政務活動費の透明性

現在の政務活動費は、会派単位

（一人会派も含む）で一人当たり月一一万円です。北摂七市では月額一人当たり三万円から一一万円であり、吹田市議会は、最高額です。全国の同人口規模の特例市である越谷市四万円、所沢市七万円に比べても高額となっています。

現状でも、使い切りではなく、残った額は戻入しますので、金額より使い方や支払いや領収書類の公開が重要です。今は、支払伝票や領収書は公文書公開対象となっていて、請求しなければ見ることができません。誰でも簡単に見ることができるようインターネット公開することを提案します。

さらに、議員報酬と合わせて約一〇%削減の一〇万円とすることを提案します。



**いけぶちの提案**  
年収恒久的に  
**10%削減**  
目標

他市と比べても多い。  
議員自ら身を削り、市民サービスを優先すべき。  
それが市民代表の務め。



しっかり市民派、  
ずっと無党派

吹田市議会議員  
**いけぶち 佐知子**

アカンもんはアカン、  
未来にまっすぐ市政にまっすぐ



## 職員にやる気をそがずに

吹田市行政の人員費は、歳出予算全体の二割、約二七億円を占めています。人員費は一般財源の比重が高く、この人員費を一〇%削減できれば、吹田市の場合、約二〇億円の歳出削減となります。

人員費を削減する方法は大きく分けて二種類です。一人当たりの人員費を削減するか、職員人数を削減するか、です。

吹田市職員の年収（吹田市WEBページから）六八五万円は、民間企業平均年収四〇八万円の一・五倍以上です。行政と同じく公共サービスを担う、たとえば関西電力 五八七万円よりも一割強も高くなっています。

（給料・COM参照）

一方、現市長による行政の維新プロジェクトによる給与等の削減が続く、職員の働く意欲がそがれているのも事実です。

そこで、一人一人の職員さんには、給与分の仕事を精一杯していただき、人数を計画的に削減することで人員費総額を削減することを提案します。市民サービスはその質、量が重要であり、その担い手がすべて公務員（自治体の直営）でなければならぬということではありません。

民間委託すれば住民サービスの質、量が低下するから民間委託はダメだ、というのは問題のすり替えです。

民間委託は委託したら終わり、丸投げとイコールではありません。

住民サービスの質、量が低下してないか、委託内容についてチェックし、行政の公的責任を果たすことは当然のことです。

行政が直接担う市民サービスを厳選し、民間（NPOなども含む）に委託できるものは委託することを提案します。そして、行政は、住民福祉向上の観点から民間委託状況を管理監督することにシフトすることで、人員費総額を削減します。



## いけぶちの提案 市職員数、5年で 10%削減

民間でできることは民間へ。市の負担を減らし、市職員の人員費を総額で削減します！

## いけぶち佐知子のプロフィール



- 1957年／和歌山県生まれ。
- 1979年／大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
- 1994年／吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
- 1999年／市民のための市政を求めて立候補し、当選。現在4期目。

子育て・教育、福祉、環境、まちづくりの市民活動にかかわる。百条委員会委員(2012～13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。

公式 HP、ブログ、ツイッター、フェイスブックで情報を発信しています。

いけぶち佐知子

検索

メルマガ通信ご希望の方は、いけぶち佐知子までメールでお知らせください。

ikebuchi@office.email.ne.jp

## 「市民派」って、どういう人？



## 私は市民派議員として、市民のために働きます いけぶち佐知子

- 市民の目線、市民の常識で考え行動します。政治の常識は市民の非常識。市議会に政治屋はいらない。市民の常識でアカンもんはアカンをつらめきます。
- 市議会で決まったこと、話し合ったことをしっかり届けます。市政なのに、市民ナイガシロが多すぎます。市議会で話し合ったことなど、キチンと分かりやすくお伝えします。それが議員としての義務です。何やってるか分からん議員はアカン。
- 議員報酬や政務活動費など、お金の流れを明らかにします。お金の不祥事があまりにも多すぎます。インターネットでの領収書の公開など、市民の常識に沿って活動、提案します。お金を何に使ってるのか分からないのはアカン。